



文部科学省科学研究費補助金

新学術領域研究「法と人間科学」主催

参加無料
事前申し込みにて
定員 30 名様まで

法と心理学者による実務家研修 「子どものための司法面接と 体験を語る子どもの心理」

● 対象：弁護士・警察官・検察官・家裁調査官・児童相談所職員など
子どもと関わる職種の方に幅広く

2014 年 11 月 24 日(月・祝)

13:00 ～ 17:00 (12:30 開場)

法と心理学の知見・成果を現場の方々を知っていただくために、文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究「法と人間科学」が、実務家研修を企画いたしました。参加費は無料です。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

四天王寺大学 サテライトキャンパス
あべのハルカス 23 階

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 (近鉄南大阪線「大阪阿倍野橋」)
http://www.shitennojia.ac.jp/ibu/careers/satellite_office/

子どもが事件や事故に関係した場合や、虐待事実の確認が必要となる時、あるいは、子どもの意向調査が必要である場合など、子どもから話（体験）を聴くことが重要な意味を持つケースがあります。しかし、子どもから話を聴くことに困難を感じておられる方は多いのではないのでしょうか。

そのような場合に、海外では、子どもに対して負担が少なく、正確な報告を促すようデザインされた司法面接という面接法が積極的に活用されています。本研修では、この司法面接について、子どもから話を聴く立場にある方々を対象に講習を行います。

さらに、「体験を語る子どもの心理」についてもご紹介します。子どもからつらい体験を聴くことの多い司法面接と、そのような体験をした子どもの心理ならびに体験を語る子どもへのケアの視点をともに取り上げることで、両者の役割の違いや連携の重要性についても考えたいと思います。

タイムテーブル

- 13:00 ● 開会の挨拶と企画趣旨
「法と人間科学」公募研究班 四天王寺大学・准教授 田中 晶子
- 13:45 ● 司法面接のガイドラインと演習
「法と人間科学」代表 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子
・講演：「司法面接（NICHHD ガイドライン）の実際」
- 14:45 --- 休憩 ---
- 15:00 ・演習：参加者による司法面接体験とその振り返り
- 15:45 ● 講演「トラウマ体験のある子どもの心理とそのケア」
立命館大学・特別招聘研究教員（准教授） 安田 裕子
- 16:45 ● 質疑応答
北海道大学大学院・教授 仲 真紀子
立命館大学・特別招聘研究教員（准教授） 安田 裕子
四天王寺大学・准教授 田中 晶子

講師 仲 真紀子 (北海道大学大学院 教授)
安田 裕子 (立命館大学 特別招聘研究教員(准教授))
田中 晶子 (四天王寺大学 准教授)

企画 田中 晶子 (四天王寺大学 准教授)

主催：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
「法と人間科学」総括班
共催：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
「法と人間科学」公募研究「司法面接における子どもの語り：
質問形式と応答の関係性について」
後援：日本心理学会、日本認知心理学会、法と心理学会 (50 音順)

* 参加を希望される方は、法と人間科学 HP
(<http://law-human.let.hokudai.ac.jp/group/summary/archive/117/537/>) より
申込み用紙をダウンロードし、ご記入の上、メールにてお申し込みください。
総括班支援室よりお返事いたします。

● 申込み・問合せ先：
北海道大学大学院文学研究科
新学術領域研究「法と人間科学」総括班支援室
email: lahs@let.hokudai.ac.jp、tel: (011) 706-3912